HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学映像・現代文化論学会 彙報
Citation	層 : 映像と表現, 18
Issue Date	2026-03-09
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/98944
Type	other
File Information	18_13_p228.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北海道大学映像・現代文化論学会　彙報

◎主催　北海道大学大学院文学研究院　映像・現代文化論研究室

◆第九回　北海道大学　映像・現代文化論学会大会

◎日程　二〇二五年一一月一五日（土）一三時三〇分～一七時三〇分
◎方式　対面
◎会場　北海道大学　学術交流会館　小講堂

～プログラム～
・総合司会　川崎　公平
・開会の辞　応　雄

○研究発表
春山行夫と田村隆一
　――閉域の詩学とその解体
　博士後期課程　寺本　真太朗

相米慎二の現場における演技体験
　博士後期課程　劉　セイブン

ＢＬゲームにおけるミステリー作品としての可能性
　――『PigeonBlood』論
　修士課程　オルホエラ・カスティージョ・マリア・カロリーナ

○講演
食べる時と語る時
　――小津安二郎『麦秋』における「語りえないもの」の演出分析
　講師紹介　川崎　公平
　講師　青山学院大学教授　三浦　哲哉

・閉会の辞　押野　武志

（肩書きの記載のないものは、映像・現代文化論研究室教員）